



2025年12月19日

各位

会社名 アジヤイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤原宏樹  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 野口敦司  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

### 連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社 sayuri - style（本社：広島県広島市、代表取締役：若井小百合 以下、「sayuri - style 社」と言います。）の株式を譲渡（以下、「本株式譲渡」と言います。）することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

#### 1. 連結子会社の異動（連結除外）の理由

当社は、2025年5月26日付「株式会社 sayuri - style の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2025年6月2日付で sayuri - style 社の株式 220 株（議決権の数： 220 個、議決権所有割合：50%）を同社の代表取締役である若井小百合氏より取得し、同社を連結子会社としました。

その後、協業を推進してまいりましたが、このたび若井氏より sayuri - style 社の経営について、改めて単独で取り組みたいとの提案があり、当社としても、若井氏の全面的な協力が得られない場合には、sayuri - style 社の継続所有が困難となつたため、双方で協議の結果、当社は sayuri - style 社の株式を若井氏に譲渡することといたしました。

今後 sayuri - style 社の株式については、2025年12月中に若井氏に売却することを予定しています。売却価格は、当初取得価格である 7,000 千円を見込んでいます。

#### 2. 異動する子会社(sayuri - style 社)の概要

(1) 名 称	株式会社sayuri - style
(2) 所 在 地	広島県広島市中区本通2番3号本通エルビル1F
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 若井小百合 代表取締役 藤原宏樹(※注)

(4) 事業内容	洋服小売販売業		
(5) 資本金	22,000,000円		
(6) 設立年月日	2017年12月18日		
(7) 大株主及び持株比率	アジャイルメディア・ネットワーク株式会社(50.0%) 若井小百合(50.0%)		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の連結子会社です。	
	人的関係	当社代表取締役である藤原宏樹が代表取締役を、野口敦司が取締役を兼任しています。(※注)	
	取引関係	当社は、当該会社との間で、経営支援の提供等を行っています。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	(単位：千円)		
決算期	2022年11月期	2023年11月期	2024年11月期
純資産	5,552	△6,768	△6,176
総資産	20,328	24,901	28,601
1株当たり純資産	2,776	△3,384	△3,088
売上高	36,351	41,141	72,358
営業利益	△963	△2,036	△1,403
経常利益	931	△1,230	739
当期純利益	924	△1,215	591
1株当たり当期純利益	462	△607	295
1株当たり配当金(円)	0.00	0.00	0.00

(※注) 株式譲渡後に、藤原宏樹は代表取締役及び取締役を、野口敦司は取締役を退任する予定です。

### 3. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 氏名	若井小百合
(2) 住所	広島県広島市
(3) 上場会社と当該個人との関係	当社子会社の代表取締役です。

### 4. 譲渡株式数譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	220株 (議決権の数：220個) (議決権所有割合：50%)
(2)	譲渡株式数	220株 (議決権の数：220個)
(3)	譲渡価格	株式会社 sayuri-style の普通株式 7,000千円
(4)	異動後の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)

## 5. 日程

取締役会決議日：2025年12月19日

※株式譲渡契約締結日及び株式譲渡実行予定日は2025年12月中を予定しております。

## 6. 今後の見通し

本株式譲渡による連結業績への影響につきましては軽微であると考えられますが、開示が必要になった際には速やかにお知らせいたします。なお、本日別途『業績予想の修正に関するお知らせ』を公表しておりますので併せてお知らせします。

また本株式譲渡による個別業績への影響はございません。

sayuri-style社の経営は若井氏により継続されますが、当社としても必要に応じて協力関係を維持してまいります。

以上